



これからの自治体のあり方と 新たな大都市制度

～特別市と広域連携の可能性～

人口減少、少子化・高齢化の進行に伴い、地方自治体においては、一自治体としての機能を維持することが困難となる市町村が全国各地で生じることが予想されます。

こうした状況の中、全ての自治体が将来にわたり行政サービスを持続的に提供していくためには、自治体のあり方の見直しと、周辺の自治体との益々の連携が必要になります。

名古屋市がめざす新たな大都市のあり方「特別市」と、名古屋市を中心とした圏域における広域連携を切り口に、名古屋市が果たすべき役割について一緒に考えてみませんか。

入場
無料

申込
不要

定員
200名

※手話通訳・要約筆記あり。

「令和6年度 大都市制度講演会」の
ホームページはこちら！

名古屋市 大都市制度講演会 検索



日時 令和7年 1月24日 金

14:00～16:30 (13:30開場)

会場 名古屋市立大学桜山キャンパス
さくら講堂

(名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)

アクセス

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車3番出口より 徒歩5分

市バス ● 金山駅 金山7番のりばより 金山12
「市立大学病院」下車
● 金山駅 金山8番のりばより 金山14 (桜山経由)
「市立大学病院」下車



会場には駐車場がありません。
公共交通機関でお越しください。

名古屋市が
めざす
大都市制度

この地域における自治体連携の推進と、
地方が担うべき事務を市が一元的に担う
「特別市」制度の創設を目指しています。

「特別市」については、
こちらのホームページに
掲載しています！

名古屋市 特別市 検索



主催 | 名古屋市 | 共催 | 名古屋市立大学都市政策研究センター

名古屋市立大学都市政策研究センター

この地域有数である総合大学の強みを活かし、各専門分野を融合させながら、地域のまちづくり・子育て支援・医療・福祉・観光など、名古屋市をはじめこの地域が抱える多種多様な課題の解決に向けた調査・研究・分析を行っています。

プログラム (敬称略)

主催者挨拶

名古屋市総務局担当局長(企画調整) 武田 淳

第1部

講演 (14:05~15:25)

「これからの大都市制度と名古屋市がめざす「特別市」の意義」

【講師】東京都立大学大学院法学政治学研究科 教授 伊藤 正次

「広域連携の必要性和大都市に求められる役割」

【講師】同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊

第2部

パネルディスカッション (15:35~16:30)

- | | | | |
|-----------|-------------------|-----|-------|
| ◆コーディネーター | 名古屋市立大学大学院人間文化研究科 | 准教授 | 三浦 哲司 |
| ◆パネリスト | 東京都立大学大学院法学政治学研究科 | 教授 | 伊藤 正次 |
| | 同志社大学大学院総合政策科学研究科 | 教授 | 野田 遊 |
| | 名古屋市総務局担当局長(企画調整) | | 武田 淳 |

登壇者プロフィール (敬称略)

講演・パネルディスカッション



いとう まさつぐ
伊藤 正次

東京都立大学大学院
法学政治学研究科
教授

〔経歴〕

東京大学大学院法学政治学研究科修了、博士(法学)。
首都大学東京大学院社会科学部教授などを経て
現職。専門分野は、行政学・都市行政論。内閣府・地方
分権改革有識者会議議員等を多数歴任。



のだ ゆう
野田 遊

同志社大学大学院
総合政策科学研究科
教授

〔経歴〕

同志社大学大学院総合政策科学研究科修了、博士(政
策科学)。愛知大学地域政策学部教授などを経て現職。
専門分野は、地方自治、行政学、公共政策。日本地方自治
研究学会常任理事等を多数歴任。

パネルディスカッション

みうら さとし
三浦 哲司

名古屋市立大学大学院
人間文化研究科
准教授

〔経歴〕

2011年同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後
期課程修了後、同志社大学高等研究教育機構助手など
を経て、2014年より現職。専攻は行政学、地方自治論。

たけだ じゅん
武田 淳

名古屋市総務局担当局長(企画調整)

〔経歴〕

1990年名古屋市役所入庁後、環境局環境企画部長、
財政局財政部長などを経て、2022年4月から現職。市政
の総合的な企画及び調整を担当。

問合せ

名古屋市総務局企画部大都市・広域行政推進課

TEL:052-972-2208 FAX:052-972-4418 E-mail:a2209-02@somu.city.nagoya.lg.jp